

平成28年10月3日

教員の公募について

国立大学法人 三重大学  
大学院生物資源学研究科長  
[公印省略]

本研究科において、下記要領で教員を公募いたします。

本公募は、文部科学省「平成28年度国立大学改革強化推進補助金（特定支援型）」（優れた若手研究者の採用拡大支援）事業（平成28年10月採択予定）の計画に基づいて行うものです。同事業は、「国立大学改革プラン」において、優秀な若手研究者の力で大学力を強化するため、全学的視点による戦略下で中長期的な若手研究者の採用拡大を目指す組織的な取り組みについて、集中的・重点的支援を行うことを目的として、優秀な若手研究者ポストの積極的な確保を促進しようとするものです。なお、同事業が採択されなかった場合でも、当該教員公募はここに示されている形で実施いたします。

1. 職名・募集人員  
助教・1名

2. 任期  
採用日から5年間の任期付教員とします。ただし、最終年度前期までの業績評価によっては、契約期間の定めのない教員（承継職員）とすることがあります。

3. 給与  
年俸制（国立大学法人三重大学年俸制適用教員給与規程適用）

4. 所属  
生物圏生命科学専攻・生命機能化学講座・微生物遺伝学教育研究分野

5. 講座および教育研究分野の教育と研究内容

生命機能化学講座は、バイオサイエンスとバイオテクノロジーの手法を用いて、食料、健康、医薬、環境等の広範囲な領域において生物資源を有効活用することを目的とし、動物・植物・微生物の多様な生命現象の仕組みや生物が産生する物質の構造と機能を明らかにする教育と研究を行っています。

微生物遺伝学教育研究分野では、有用微生物の生理機能を解析して産業に応用することを究極の目的とし、微生物の遺伝子解析から得られた情報をもとにして、分子育種による微生物の高機能化の研究を行っている。とくにバイオマスを分解する微生物に関する基礎・応用研究を中心としています。

6. 担当予定授業科目  
[学部]

卒業研究，生物圏生命科学概論，応用生命化学概論，応用生命化学演習Ⅰ・Ⅱ，生命機能化学実験実習，化学実験 など

[大学院]

大学院の以下の授業を分担していただくことがあります。

微生物遺伝学特論，微生物遺伝学演習，生命機能化学特別研究Ⅰ・Ⅱ，生命機能化学特論Ⅰ・Ⅱ など

## 7. 応募資格・条件

- (1) 博士の学位を有し，学部および研究科の学生の教育に熱意をもって取り組めること。
- (2) 微生物遺伝学，応用微生物学，遺伝子工学，酵素化学などの分野で研究業績を有し，着任後もこれらの分野において教育・研究ができる方。とくに微生物の分子遺伝学やゲノムワイドな解析に関する知識を有し，有用物質や酵素の生産等，微生物利用につながる研究に取り組む熱意のある方。
- (3) 学部・研究科および当該教育研究分野の運営に協調性をもって積極的に取り組めること。
- (4) 地域圏大学としての三重大大学の目標を理解し，地場産業の育成につながる産学共同研究に積極的に取り組む意志があること。
- (5) 平成29年3月31日現在で39歳未満の方。

\* 文部科学省「平成28年度国立大学改革強化推進補助金（特定支援型）」（優れた若手研究者の採用拡大支援）事業のため，雇用対策法施行規則第1条の3第1項例外事由3号二に該当，同事業の年齢制約に基づき，応募条件を設定しています。詳細は，三重大学生物資源学研究科チーム総務担当（Tel:059-231-9626, E-mail: bio-somu@ab.mie-u.ac.jp）までお問い合わせください。

\* 男女共同参画の観点から女性研究者の積極的な応募を望みます。

## 8. 応募書類（各1部を提出）

- (1) 履歴書（写真貼付，学歴，職歴，学位取得年月と論文題目，所属学会，その他学会賞などの受賞歴，資格など）
- (2) 業績目録（原著論文，著書，総説，その他について，項目ごとに分けて発表時期の新しいものから順に並べ番号を付すこと）  
原著論文については，自らの貢献度や実際に担当した部分について説明する文章（各200字程度）を添え，さらに査読制度の有無を記載し，責任著者には\*を記載すること。
- (3) 上記業績目録にかかる現物もしくは別刷（代表的なもの5編程度，コピー可）
- (4) 研究費獲得，プロジェクト参加実績一覧  
（それぞれについて代表・分担の別を明記のこと）
- (5) 教育実績一覧
- (6) 社会連携に関する実績一覧
- (7) 管理運営に関する実績一覧
- (8) これまでの研究活動に関する概要（A4判，1,000字程度）。業績目録（2）の原著論文の整理番号を引用のこと。
- (9) 着任後の教育研究活動に関する抱負（A4判，1,000字程度）
- (10) 応募者の連絡先（住所，電話番号，電子メールアドレス）
- (11) 応募者に関する照会先（2名：氏名，所属，役職，電話番号，電子メールアドレス等）

## 9. 応募期間

平成28年10月3日（月）～平成28年11月4日（金）（必着）

10. 選考方法

- ・書類審査を主としますが、選考の過程で面接を行う場合があります。
- ・面接の場合の旅費は、自己負担となります。

11. 着任時期

平成29年2月1日

12. 応募書類提出先

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577

三重大学大学院生物資源学研究科生物圏生命科学専攻

専攻長 教授 岡垣 壮

(持参または郵送。郵送の場合は簡易書留で「生物圏生命科学専攻教員公募書類在中」と朱書きのこと)

13. 問い合わせ先

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577

三重大学大学院生物資源学研究科生物圏生命科学専攻生命機能化学講座

講座主任 教授 寺西克倫

E-mail: teranisi@bio.mie-u.ac.jp

Tel: 059-232-1211 (三重大学代表)

14. 参考

生命機能化学講座教員一覧 (平成28年10月1日現在)

教育研究分野	教授	准教授	助教
分子細胞生物学	奥村 克純		緒方 進
分子生物情報学	田中 晶善		三宅 英雄
生理活性化学	稲垣 穰		
創薬化学		増田 裕一	
生物機能化学		勝崎 裕隆 (公募中)	
生物制御生化学	寺西 克倫		
食品生物情報工学	橋本 篤	末原 憲一郎	
食品化学		磯野 直人	
応用微生物学	栗冠 和郎		
微生物遺伝学	木村 哲哉		(本公募)
栄養化学	梅川 逸人	西尾 昌洋	
食品発酵学	荻田 修一		

生物資源学部および生物資源学研究科のホームページ <http://www.bio.mie-u.ac.jp/>